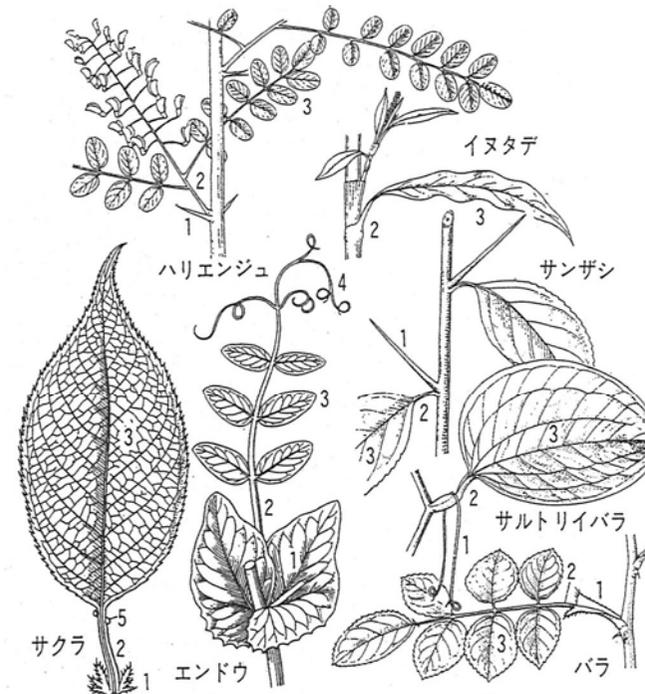


これも葉？

___月___日 なまえ_____

葉は3つの部分からなっています。平たく広がっている葉身と、葉柄と、葉柄が茎についている所にある托葉という小さな葉です。

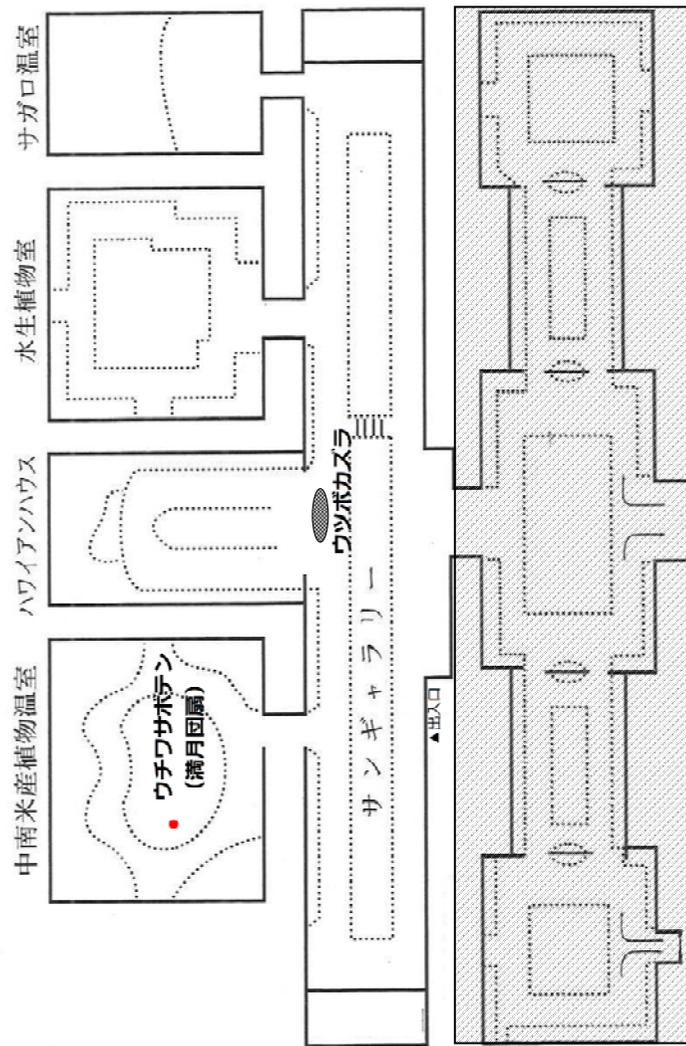


葉の各部 1托葉, 2葉柄, 3葉身, 4葉の変化
したつる, 5蜜腺(みつせん) 岩波書店「科学の辞典」より

葉は、時に色々な形に変わって、違う働きをすることがあります。葉が針のようになっているもの（サボテン）や葉の先が巻きひげとなっているもの（マメ科のエンドウやスイートピー）があります。エンドウでは、托葉がとても大きく葉身のように見えます。

また、虫を食べる植物（食虫植物）では、葉が変形してトラップ（わな）になっているものもあります。

托葉が、つるになっていたり（サルトリイバラ）、とげとなっていたり（ハリエンジュ、ハナキリン）もします。



〈温室前館【重要文化財温室】〉
保存修繕工事に伴いH25年2月15日から閉鎖中

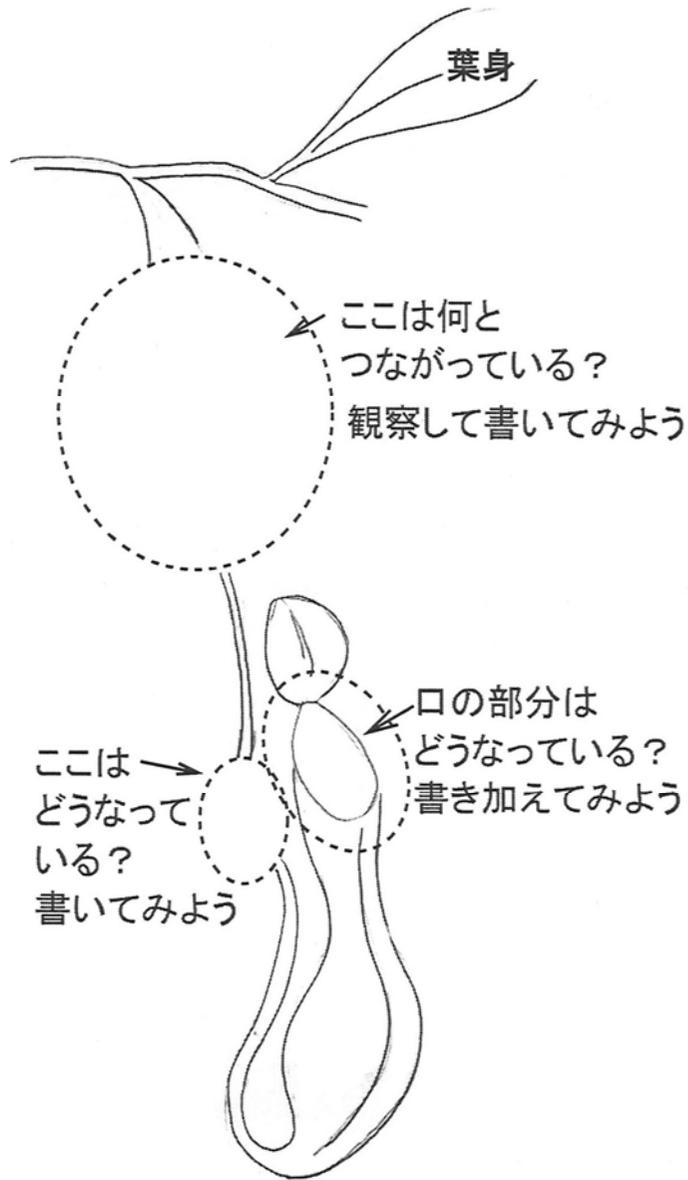
答え

A1：食べられる。自生地のメキシコの市場では、ウチワサボテンの仲間が野菜として売られている。

A2：葉。若い茎には小さな鱗片状の葉がついているが、すぐに脱落する。

A3：葉。緑色の丸い茎が光合成をして、葉の役割を果たしている。

①ウツボカズラ



②ウチワサボテン

